

基準 4	教育課程・学習成果	2/2
------	-----------	-----

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「A」「B」「C」「D」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目 点検項目（評価の視点）	自己評価	
		現状	改善
405	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	B	B
	①成績評価及び単位認定を適切に行うための措置 ・単位制度の趣旨に基づく単位認定 ・既修得単位の適切な認定 ・成績評価の適正性・厳格性を担保するための措置 ・卒業・修了要件の明示 ②学位授与を適切に行うための措置 ・学位論文審査がある場合、学位論文審査基準の明示 ・学位審査及び修了認定の客観性・厳格性を確保するための措置 ・学位授与に係る責任体制及び手続の明示 ・適切な学位授与		
406	学位授与の方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	C	
	①各学位課程の分野の特性に応じた学習成果を測定するための指標の適切な設定 ②学習成果を把握・評価するための方法の開発 ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取 ③学習成果の測定結果の適切な活用		

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
405①成績評価については、定められた学習量を確保できるよう学年暦を策定しており、また、休講する場合は必ず補講を実施する等の対応を行っている。[405a] 既修得単位の認定については、学則第 38 条により、学生が入学前に本学又は他大学で修得した単位を本学で修得したものとして認定することができることを定めている。認定に際しては、学則 26 条～第 28 条に定めたとおり、単位制度の趣旨に基づき、適切な単位設定を行っている。 [405b] 成績評価については、シラバスにおいて3つの視点（評価種別、評価の割合、評価基準）を明示し、それに基づく成績評価成績評価を行っている。[405c] 卒業に必要な要件や必要単位数については、『履修要項』や『大学 HP』に掲載し、学生に明示している。[405d,e,f] 405②学位授与（卒業認定）については、「龍谷大学学位規程」や「コース修了に必要とされる単位数及びコース修了認定方法」に基づき、各学部教授会及び研究科委員会において厳正に行われている。[405g] 406①文学部においては、「学位授与の方針」に対応する「文学部アカデミック・リテラシー・ルーブリック」[406h]を作成し、文学部生として求められるスキルを、どの程度達成できているかを確認できるようにしている。 406②一部の学部では、学習到達度を評価するために到達度試験[406i]を実施している。また、一部の学部では学部教育課程の集大成となる卒業論文および卒業研究の発表などの評価において、ルーブリックを用いた評価[406j]を行っている。また、卒業時に、「学生に保証する基本的な資質」の修得状況についてアンケート調査[406k]を行っている。また、学生による学期末の授業アンケートにおいて、科目ごとの達成度をはかる問を設けている。[406l]

406③一部の学部では、卒業時の学修到達状況に関して、教育プログラム担当組織で議論を行い、カリキュラム改善を行っている[406m]。	
長所・特色《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項《箇条書き》 *伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

＜伸長・改善の進捗状況＞

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない

＜今年度の伸長・改善計画＞

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
406	学習成果を把握・評価するための方法の開発

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
405①	a	2016 年度出講手帳（根拠資料 102e 参照）
405①	b	龍谷大学学則（抜粋）
405①	c	シラバス作成の手引き
405①	d	2016 年度各学部履修要項（根拠資料 102b 参照）
405①	e	2016 年度各研究科履修要項（電子データなし）
405①	f	「履修要項」 http://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/
405②	g	龍谷大学学位規程
406①	h	文学部アカデミック・リテラシー・ループブック（電子データなし）
406②	i	2016 到達度テスト実施要領（3 月・9 月）
406②	j	2016 年度特別研究達成度評価票（学部・大学院）
406②	k	「学生に保証する基本的な資質」に関する意識調査アンケート用紙
406②	l	2016 年度第 2 学期「学生による学期末の授業アンケート」の実施について（提案）
406③	m	カリキュラム懇談会[理工学部]

Ⅱ. 評価結果

総評
405①成績評価、単位認定については、自己点検・評価の記述並びに、根拠資料により、適切に行っていることが確認できた。 405②学位授与については、「龍谷大学学位規程」等に基づき、各学部教授会及び研究科委員会において適切に行われていることが確認できた。 406 学位授与の方針に明示した学生の学習成果の適切な把握及び評価については、一部の学部(文学部、理工学部)において、ルーブリックを用いたり、達成度試験を実施している点は評価できる。このような取り組みを全学的に展開できるよう、学修成果を把握・評価するための方法の開発が望まれる。また、学期末の授業アンケートや卒業時に実施している「学生に保証する基本的な資質」の修得状況についてアンケート調査の結果を、カリキュラム改善等につなげるような仕組み作りについて積極的に取り組んで頂きたい。
長所・特色《箇条書き》
課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
・学修成果を把握・評価するための方法の開発について、全学的に取り組んで頂きたい。【留意点】